

唯先生、ありがとう存じます。

今、いろんなことを振り返りながら思います。

あのような大きな「奇跡」を頂けていなかったら、こうして元気に過ごさせて戴ける
今という時間は無かったと、改めておもいます。
あの時、あのまま手術になっていたら 今頃どうなり、どうしていたのだろう.....
と思います。

喉に大きな腫瘤を見つけたのは3月半ば...痛みもなく、急に出来ました。
直ぐに町の個人病院の「耳鼻科」を受診し、一週間ほど抗生物質で様子を見て
何も変わらなければ大きな病院を紹介すると言われたこと...。
そして一週間後もまったく変化は無く、大きな病院を紹介され、

4月中旬に検査を受けたこと...。
病名は「頸部リンパ節腫脹」...。
結果、悪性か、良性か組織検査が必要な為、「5月11日に手術」と...
その時決定したこと...。

そして、忘れもしない4月16日のご縁日... (手術が決定した翌日でした)
母、主人、子供達と共に御参りさせて頂いた際、唯先生が
出て来て下さり温かいお声を掛けてくださりながら、腫瘤の所を、何度も、
何度もさすって下さったこと...濃い冷たい「お供水さん」頂いたこと...
(あの時さすって戴いた唯先生の手...忘れられません。
本当にとっても気持ち良かったのを今でもはっきり覚えています。)

その後、凄いタイミングで母が戴いておりました25日の「グループ接心」で
「手術する病院が引っ掛かる...。違う病院を受診した方がよい...」と
勧めて下さいました。

しかしそうした中...母にそっとおっしゃって下さったことがありました。

「大丈夫ちゃうか、無くなるんちゃうか...」...と。(消えてしまう?...)

とにかく連休があるから直ぐに違う病院を受診することを勧めて下さいました。
そして、気に掛けて下さった「護持会」の方々の情報を元に、翌日違う病院を
受診させて戴き、検査をうけさせて戴くという流れを戴きました。

そして翌日...びっくりするような「奇跡」が起きました。
仰って下さった通り...、
あんなに大きかった腫瘤が跡形もなく綺麗に消えて無くなっておりました。

手術が決定していたにも関わらず腫瘍が無くなった為、手術はキャンセルに...!!
手術が決まっていた病院の主治医もびっくりされておられました。

あのまま手術をしていれば...今頃どうしていたんだろう...と思います。

手術する箇所も危険な箇所であったこと...、後遺症が残るかも知れないと
言われていたことを思い返すだけでゾッとします。

本当に最悪の場合を何度も想像しました...。

そう感じながら過ごす一日、一日は本当に貴いものでした。

私の状態を知って居られた方々も目が点になる位...かなりびっくりされました。

こうして有り得ない大きな「奇跡」を戴くことが出来たからこそ...

こうして元気に過ごせています。

日々の幸せをつくづく感じております。

神^{かみ}仏さま、唯先生、本当に、本当にありがとうございます存じました。

あゆみ 拝

唯心からの追伸

あんなに大きかったグリグリが...消えた...だけでも

不思議がいっぱいですが

この後の...ご自分の生き方...

ご家族の方々の...反応など...

いろいろ...あって それを乗り越えてこそ...

本当の信仰につながるのでしょうかね

ご両親の信仰心...お家の信仰...み仏さま...まだまだ

解決には時間がかかるのでは...

頑張れ!!あゆみちゃん!大丈夫だよ

唯心 拝